

採択大学：弘前大学（強化を図る機能：①、②、③）

参画機関：ハーバード大学、ジョンズホプキンス大学、レスター大学、アメリカ国立衛生研究所、オクラホマ大学、京都大学、東京大学、筑波大学、東京科学大学、九州大学、京都府立医科大学、和歌山県立医科大学、名桜大学、富山大学、静岡社会健康医学大学院大学、名城大学、秋田大学、岩手大学、岩手医科大学、東北大学

取組内容の概要

弘前大学VISION (10年後の姿) 異分野融合型総合知により、革新的な卓越研究大学群を構築して、この研究大学群を牽引する中核研究大学としてグローバルWell-being共創社会を実現する。

本学が有する全領域のリソースや国内外有力大学等の強みを全て組み合わせ(異分野融合型総合知)、Well-being研究における研究大学群を構築する。国内外トップ大学等との戦略的研究融合・機能補完による卓越性の高い研究力強化、大胆なガバナンス改革、全学的な大学院改革を実行し、強み・特色をさらに先鋭化し、世界レベルへと「伸びしろ」を最大限に伸長する。

本学の強み・特色

- 世界唯一の超多項目健康ビッグデータ(3000)による先端予防医学研究
- パブリックヘルス領域主要6分野における国際共著論文率等では世界水準
- 多共同研究講座で「組織」対「組織」の大型産学連携実現(国内トップ水準)

本学の伸びしろ(課題)

- 多様性の向上：大学全体(全領域)での研究力アップ
- 研究支援の拡充：研究開発支援人材等の育成・増強
- 研究の国際化：海外トップ水準大学との連携強化

- 戦略1 (研究強化) グローバルWell-being共創社会実現に向けた総合知による研究展開  
-グローバルWell-being総合研究所を核とした総合知による国際的な研究展開
- 戦略2 (社会実装) 社会実装・スタートアップ創出の活性化によるイノベーション創出の加速  
-Well-being社会実装本部による研究支援体制・社会実装力増強
- 戦略3 (人材育成) 持続的な研究力向上を実現するための人的資源マネジメント構築  
-Well-being研究の横展開に向けた全学的な大学院改革等

アウトカム

- 大学全体の共同研究費：3倍強の20億円△
- パブリックヘルス領域6分野：Top10%論文率世界水準△
- 大学発スタートアップ創出数：30社以上△
- 自治体からの投資額：3倍強の5億円△

達成プロセス



《革新的な卓越大学群を牽引する中核研究大学》

地域課題を含めた地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する世界的な卓越研究大学群を形成

Well-being領域で卓越性を発揮

データコモンズ → 異分野融合総合知 → 国際頭脳循環 → 研究力強化

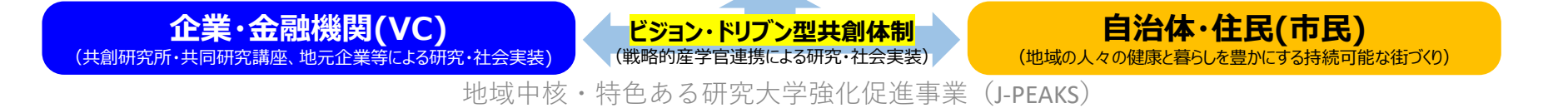
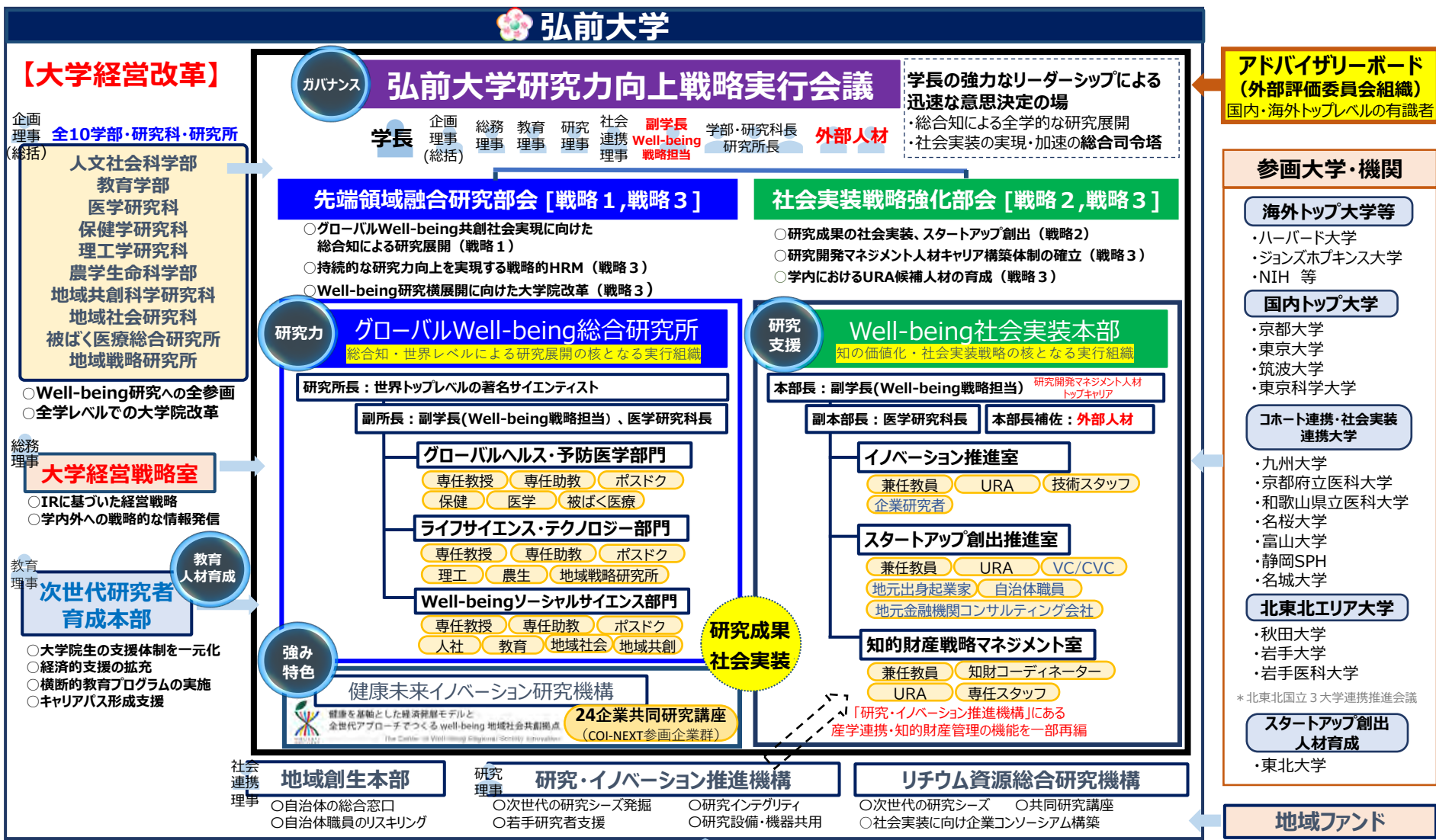
《グローバルWell-being共創社会の実現》

弘前大学が創り出すWell-being街づくりモデル(姿)を北東北エリアの研究大学群から全国、全世界へと発信

「人」と「データ」の一大プラットフォーム × Well-beingを基軸とした経済循環モデル

地域の人々の健康と暮らしを豊かにする持続可能な街づくり

# グローバルWell-being共創社会実現を具体化する強力な研究と社会実装の両輪体制と、全学ガバナンス体制を改革・強化



取組内容の時系列イメージ

実施項目		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12~	10年後
【戦略1】 グローバルWell-being共創社会実現に向けた総合知による研究展開	1)グローバルWell-being総合研究所の新設	R6 7月設置	新規研究者採用・配置	最先端の統合予防医学・健康社会科学を基礎としたWell-being研究を先鋭化		世界基準となるグローバルWell-being研究構築		企業等も含めた世界トップレベル研究拠点 国内外大学・企業等から研究者が集積 海外グローバル企業との共同研究展開	
	2)異分野融合型総合知による全学展開		3つの重点領域設置	全学一丸となって領域融合型研究を実行(同時多発、大学全体の研究力向上)					
	3)世界唯一の統合リアルワールドデータ群(IRWD)を構築・拡大		各種データの取得、コホート連携	基本的な包括的健康医療データ	京都大学・医療DXプラットフォーム等と接続・検証、最終的IRWD構築	世界的な共通基盤データ			
	4)国内外トップ大学等との研究融合・機能補完		国外トップ大学との機能補完・研究融合		国内トップ大学との機能補完・研究融合(筑波大IIIS、富山大ムーンショット研究開発との融合も追加)				
			北東北エリア大学との機能補完・研究融合(Well-being研究の共同研究体制を構築・実施)						
	5)ビジョン・ドリブン型のイノベーションエコシステム構築(共創研究所)	規程制定	企業名を名称に付すことができる「共創研究所」を段階的に複数設置「グローバルWell-being共創社会実現」をステークホルダー共通のビジョンとした共創体制						
6)研究環境の整備		先端大型研究設備整備	戦略的施設マネジメントによる研究スペースの拡張		先端機器を活用した研究展開				
【戦略2】 社会実装・スタートアップ創出の活性化によるイノベーション創出の加速	1)Well-being社会実装本部の新設	R6 7月設置	本部長補佐登用(民間)	研究支援体制、企業とのマッチング機能等を強化 研究成果の社会実装を加速			地元企業も巻き込んだ社会実装・地域産業創出 地域課題解決を実現する「経済循環モデル」を北東北エリアから国内外へ発信		
	2)イノベーション推進室の新設		支援人材増強配置	関係機関とのコーディネート 研究伴走・プレアワード等の研究支援	研究成果の社会実装加速				
	3)スタートアップ創出推進室の新設		起業に繋がる研究シーズの発掘・支援 多様なチャンネルを活用した資金調達	大学発スタートアップ創出加速					
	4)地域ファンドを創設、LP出資		地域ファンド創設・LP出資	大学発スタートアップの創業初期段階をターゲットに出資	大学発スタートアップの成長				
	5)研究成果の社会実装(取組例)		コンパクト型健診プログラム「QOL健診」を国内外へ普及				街づくりモデル構築		
			弘前版PFS/SIBの段階的実行		健康測定機器・機能性健康食品・サービスなどの実証試験や社会実装				
6)COI-NEXTに次ぐ本学の看板となる研究シーズの発掘・育成		学内研究助成事業「弘前大学次世代重点研究」によるシーズの発掘・育成、企業等との連結			COI-NEXTに次ぐ大型研究拠点形成競争的外部資金獲得				
【戦略3】 持続的な研究力向上を実現するための戦略的HRM(人的資源マネジメント)の構築	1)Well-being研究の横展開に向けた全学的な大学院改革		R7設置 大学院医学研究科Well-being学際研究コース(博士4年)	R8設置 全研究科の修士課程 Well-being学際研究コース(修士2年)		R10設置 グローバルWell-being学際研究専攻(博士3年)		R11~ 全領域型のグローバルWell-being研究科設置に向けた検討(一研究科構想)	
	2)戦略的インセンティブによる大学院学生に対する支援強化	R6設置	次世代研究者育成本部(全研究科の大学院生の支援体制を強化) 全ての博士課程学生(後期及び4年制)に対して、奨励費と研究費を支援 修士課程学生に対する公募型研究費支援制度の展開						
	3)研究開発マネジメント人材のキャリア構築体制の確立		副学長ポスト創設	評価・昇進制度を再設計、キャリアパス整備					
	4)研究開発マネジメント人材候補の育成		教育プログラムの開発	教育プログラム展開	履修証明プログラム開始				

大学ビジョンの実現